

令和2年9月10日

神奈川県剣道連盟

シニアフェスタ開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン

【かながわシニアスポーツフェスタ剣道大会を開催するにあたって】

1. 神奈川県剣道連盟（以下ガイドラインにおいて「主催者」）は、かながわシニアスポーツフェスタ剣道大会（以下ガイドラインにおいて「大会」）を開催するにあたって、神奈川県及び大会会場となる施設の方針を遵守するものとする。
2. 主催者は大会を開催するにあたって、参加者並びに関係者に対し、このガイドラインの内容を徹底する。
3. 主催者は、大会スケジュールを策定するにあたって、入場・受付の密集を避けるため受付時間を幅広く取るなど、全体として余裕を持った時間割とする。
4. 主催者は、参加者並びに関係者以外（例えば、付き添いや見学者）は入場できないことを、あらかじめ徹底する。
5. 参加者並びに関係者は、ガイドラインを遵守し、安全な大会の運営に協力する。

【大会への参加にあたって】

1. 以下に該当する者は参加できない。
 - (ア) 基礎疾患のある者
 - 基礎疾患のある者とは、「糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方など」をいう
 - これらの者が理由あって参加する場合は、主治医の承認を得るものとする
 - (イ) 発熱のある者（個人差があるが、一般的には37.5度以上ある者をいう）
 - (ウ) 咳・咽頭痛など風邪の様な症状がある者、その他体調がよくない者
 - (エ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - (オ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
2. 参加者は、大会当日に自宅等で検温を行い、体調チェックリストに、氏名、年齢、住所、連絡先電話番号及び当日の体温を記録し、大会会場に持参する。

3. 参加者は、面マスク、マウスガード及び市販マスクを持参する。
 - (ア) 試合時には面マスク及びマウスガードを必ず着用する。アイガードの着用も推奨する。それ以外（試合までの待機中等）は市販マスクまたは面マスクを必ず着用する。

【入場・受付・更衣】

1. 参加者は、自宅と大会会場との往復の際にはマスクを着用し感染予防に努める。
2. 主催者は、入場口を広くしたり、多数の係員を配置したりするなど、参加者が施設に入場する時、行列にならないよう配慮する。
3. 参加者は施設への入場時、持参した体調チェックリストを提示する。
 - (ア) 体調チェックリストを持参しなかった者は、原則として入場できない。
 - (イ) 見学者、付き添い等は入場できない。
4. 入場口にアルコール除菌液を設置し、参加者は手指消毒を行う。
5. 参加者は体温測定を受ける。主催者は、非接触型体温計等により、参加者の体温測定を行う。
 - (ア) 体温測定により 37.5 度以上ある者は、入場できない。
6. 施設に入場後、参加者は受付を行う。受付で持参した体調チェックリストを提出する。なお、受付は、ロビー等可能な限り広い場所で実施する。
7. 受付は、密集を避けるため、複数か所設置し（参加部門により区分）、参加者を分散させる。分散がスムーズにできるよう、受付の表示を明確にする。
8. 受付が密集した場合、入場制限を行う。
9. 受付終了者は、更衣場所に移動し、剣道着・袴に着替えて、待機する。
 - (ア) 観覧席は密集にならないように、1 席以上空けて使用する。
 - (イ) 女子更衣室は、密集状態にならないように配慮する。

【大会会場内での留意事項】

1. 参加者並びに関係者は、フィジカル・ディスタンス（人と人の距離、最低でも 1 メートル、できれば 2 メートル）を常に保つようにする。
2. 参加者は、大会会場では常にマスクを着用する。（試合時は面マスク及びマウスシールド、試合時以外も市販マスク又は面マスクを使用する）
審判員及び役員はマスク、係員はマスク及びフェースシールドを着用する。

3. 参加者並びに関係者は、大会会場内でも、手洗い、うがい、アルコールによる除菌消毒に努める。
4. 大会中に大きな声での会話、応援をしない。

【暫定的な試合・審判の方法】

1. 新型コロナウイルス感染症が終息するまでは暫定的な試合・審判法を感染状況等踏まえながら大会実施要項に定める。
2. 試合時間の短縮、延長戦は区切って行い休憩を取り入れる等、マスク着用による熱中症対策を積極的に取り入れる。
3. 全剣連ガイドラインに従い、試合者は、鏢競り合いを避ける。やむを得ず鏢競り合いとなった場合は、すぐに分かれるか引き技を出し、掛け声は出さない（引き技時の発声は認める）。審判員は鏢競り合いを解消しない場合は、ただちに「分かれ」を宣告する。
4. 審判員の試合場への入退場の際は、1メートル以上の間隔を空けて行ない、副審は試合開始線の外側を通り定位置まで進む。（別添1）
5. 合議は1メートル以上の間隔を空けて行う。（別添2）
6. 試合終了後に当該試合の反省を行う場合は、1メートル以上の間隔を空ける。
7. 審判員は、試合時マスクを着用する。また、各自の審判旗を持参して使用する。各試合会場の審判員控席にアルコール除菌液を設置し、手指消毒を行う。

【その他】

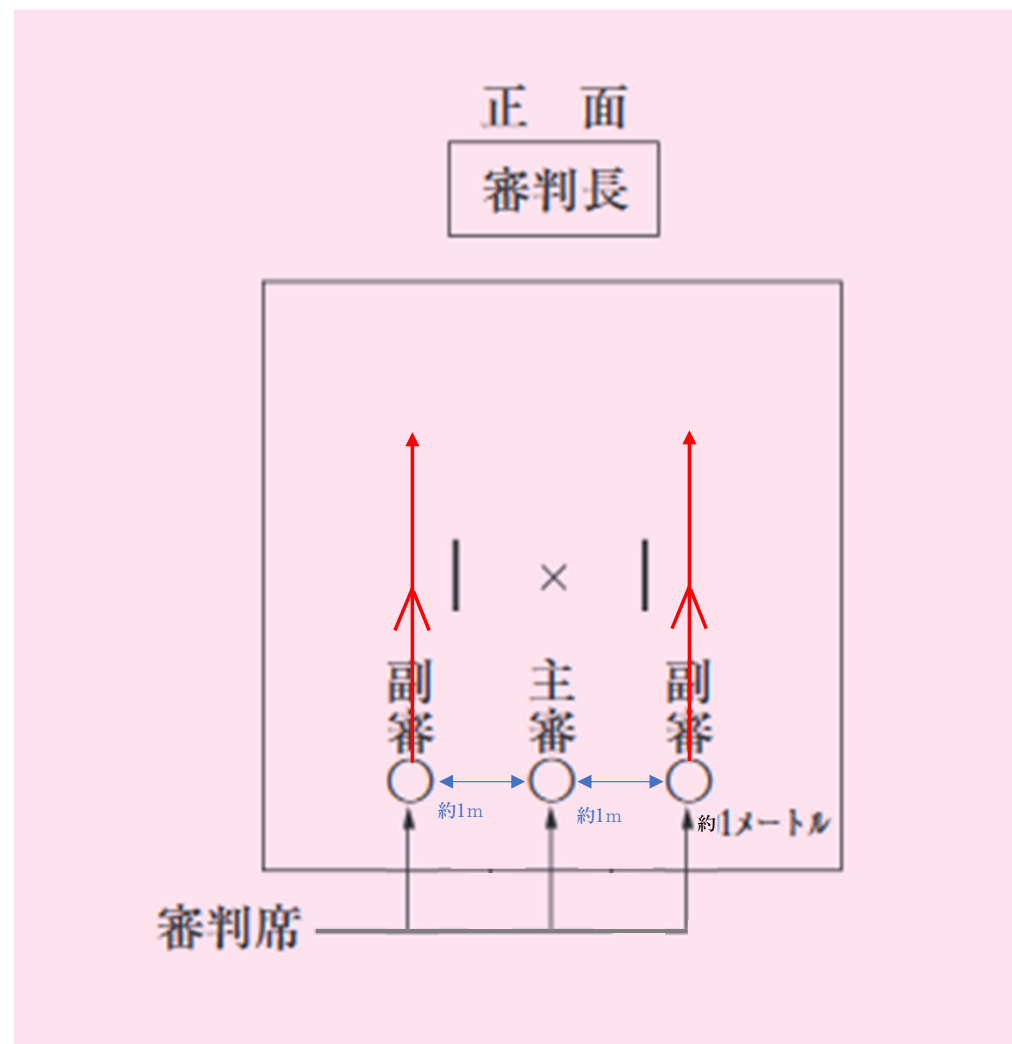
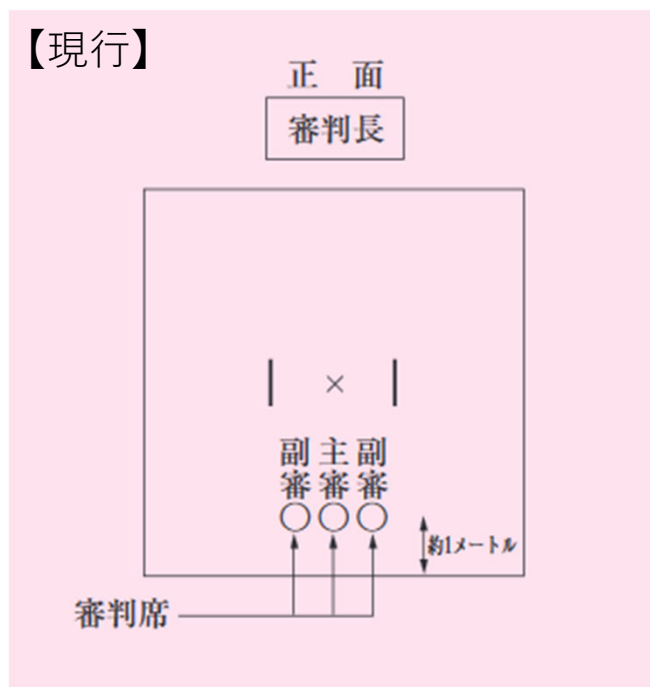
1. 大会会場では常に換気を行う。
2. 主催者は、多くの人が触れる用具、箇所（ドアノブなど）をできるだけその都度消毒する。
3. 参加者は、食事の空箱等、持参した物、ごみは必ず持ち帰る。
4. 主催者は参加者名簿を事前にシニアフェスタ事務局に提出する。
5. 参加者が持参した体調チェックリストは主催者が取り纏め、シニアフェスタ事務局に提出し、シニアフェスタ事務局で一定期間保管する。
6. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

以上

【別添1】

剣道試合・審判運営要領 p14 審判員の移動・交替要領

第1図 審判員の入場および整列



【別添2】

審判員合議時の位置

